

形態学研究特論（天野 カオリ）

Advanced Course of the study with Morphology（Kaori Amano）

キーワード

- ①形態学
- ②ヒトを対象とする形態研究
- ③動物を対象とする形態研究
- ④XR(VR/AR)・AI技術の活用
- ⑤他基礎講座や臨床講座との共同研究

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

- ①,③,④,⑤

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

- ①,②,④,⑤,⑥

授業概要

ヒトを対象とする形態研究に必須となる王道の剖出法や基本的な細胞・組織学的染色技法と試料作製法を可能な限り習得し、動物を使用する研究に必須となる免疫染色技法や手術手技を習得する。また走査型電子顕微鏡(SEM)の取り扱いと観察法、試料作製手技を習得する。他基礎講座や臨床講座との共同研究として着手可能な研究課題について日々検討模索していく。加えてXR(VR/AR)やAI技術を活用した形態研究を実現できるような講座の体制を整えていく。

授業科目の学習目標

系統解剖学の知識を習得し、形態研究に欠かせない剖出手技、免疫組織学的染色技法や試料作製法について習得する。また形態研究の論文構成と作成に必要な知識を習得する。

授業計画

- ①ヒトを対象とする形態研究に必要な基礎知識総論 1コマ 天野カオリ
 - ・剖出技術の習得 学生実習の全参加必須+剖出技術習得のための予備解剖 1コマ 天野カオリ
 - ・免疫組織学的染色法の習得と各種顕微鏡での観察 5コマ 天野カオリ
 - ・走査型電子顕微鏡の試料作製法の習得と観察 5コマ 天野カオリ
- ②動物を対象とする実験に必要な基礎知識総論 5コマ 天野カオリ
 - ・還流固定法、試料作製法(パラフィン切片/凍結切片)習得 5コマ 天野カオリ
- ③ヒト/動物を対象とする医学研究に必須な倫理審査の流れについて 1コマ 天野カオリ
- ④形態研究におけるXR(VR/AR)・AI技術の活用に必要な基礎知識総論 2コマ 板宮朋基
- ⑤形態研究の論文構成と作成に必要な知識 5コマ 天野カオリ

教科書および参考書

必要に応じて提示

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

特に必要なし

大学院生が達成すべき行動目標

- ①ヒトを対象とする形態研究に必要な基礎知識、剖出手技、免疫組織学的染色技法や試料作製法、各種顕微鏡での観察、走査型電子顕微鏡の試料作製法を習得する。
- ②動物を対象とする実験に必要な基礎知識、還流固定法、試料作製法を習得する。
- ③ヒトや動物が対象となる医学研究について倫理審査の意義と背景ならびに流れについて理解する。
- ④形態研究におけるXR(VR/AR)・AI技術の活用に必要な基礎知識を習得する。
- ⑤形態研究論文作成時に必須な参考文献選択を早期から開始し論文執筆には可能限り早めに着手する。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	30%	70%	0%	0%	0%

評価の要点

- ・レポートは、研究課題の軸となる関連参考文献30編を収集し、内容について選択理由や問題点などをまとめ報告書を提出する。1%×30回=30%
- ・成果発表は、達成すべき行動目標の①-⑤までの理解度と手技習得状況をもて判定する。1回 70%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。